東京ＦＩＡニュース

第47号　2009年1月10日　東京国際農業者協会

平成２０年度壮行会記念講演

「東京にオリンピックを　フレッド和田に学ぶボランティア魂」

工藤　巌（S31年/米3）

日時：2月8日（日）午後3時～

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター「センター棟409」

会費：無料

＊詳細は裏面をごらん下さい

東京オリンピック2016招致をみんなで実現させよう！
http://www.tokyo2016.or.jp/

今回、海外での活動経験が豊富な工藤兄の講演は、１９６４年アジアで始めて開催された東京オリンピックの影の立役者「フレッド和田」さんにスポットをあて、兄が出会った「ボランティア魂」についてのお話です。

２０１６年開催予定の第３１回オリンピックに向け東京都が候補地に名乗りを上げ、国際オリンピック委員会総会で開催地が決定する年の幕開けにふさわしい講演です。

参考図書
「祖国へ、熱き心を　東京にオリンピックを呼んだ男」
高杉良著　新潮文庫

戦後の混乱期、全米水泳選手権に出場した古橋広之進らは世界新記録を連発し、“フジヤマのトビウオ”と賞賛された。敗戦にうちひしがれていた日本人に勇気と希望を与えた彼らを支えたのは、ひとりの在米日系人―フレッド・和田勇。

そのとき彼は、日本の悲願“東京五輪”誘致を心に決めた…。日本の発展のためにすべてをなげうった「無私の人」の苛烈な生涯を描いたドキュメント・ノベル。

ハイライト:

記念講演「東京にオリンピックを　フレッド和田に学ぶボランティア魂」
サンクスパーティー
公募のご案内　田舎で働き隊

目次:

壮行会記念講演	1
サンクスパーティー	3
公募のご案内	4

明けましておめでとうございます

壮行会記念講演および懇親会のご案内

日時：2月8日（日）15時
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
　　センター棟　409号室
会費：講演会　無料
　　懇親会　4千円（本年度推薦者は無料）

日	程
13:30～14:30	役員会
14:30～15:00	受付
15:00～16:10	講演
16:10～16:30	質疑応答
17:00～19:00	懇親会

― 会場へのアクセス ―

◎小田急線
・参宮橋駅下車　徒歩約7分

◎地下鉄千代田線
・代々木公園駅下車　徒歩約10分
（代々木公園方面4番出口）

◎バス
・新宿駅西口（16番）より
代々木5丁目下車
・渋谷駅西口（14番）より
代々木5丁目下車

◆講演会・壮行会参加申込書　　締切　１月３０日（金）必着

氏　名			
住　所			
連絡先			
講演会	・参加	・不参加	（どちらかを○で囲ってください）
懇親会	・参加	・不参加	（どちらかを○で囲ってください）
メ　モ			

電話
03-5703-0253
FAX
03-5703-0255
電子メール
e_kubota@jaec.org

役員会　当日13時半より	
・出席	・欠席
＊役員の方のみご記入下さい	

サンクスパーティー

12月10日、新宿高島屋スクエアーの天厨菜館でサンクスパーティーを開催しました。
参加者が12名といつになく少なかったのですが、その分中身の濃いパーティーになりました。

参　加　者
（敬称略）

村田　正
滝田　幸成
坂元　良二
香川　保憲
堀内　睦司
金子　昇吾
三浦　大地

工藤　巌
本間　惇
植木　義一
保坂　治良
窪田　悦子

公募事業のご案内

平成20年度「田舎で働き隊」（農村活性化人材育成派遣支援モデル事業）

応募期間：平成21年1月5日（月）より2月16日（月）まで

趣旨

農村の活性化には、それを担う人材が必要となるが、高等教育機関や安定した就業の場が少ないことなどから、農村では青年層を中心に都市部への人口流出などが進み、活性化の担い手となる人材が不足している。

一方、都市住民の間では農村への関心が高まっており、また、都市住民が農村と協働して農村活性化に向けた取組に携わり、外部の者ならではの「気付き」をきっかけとして、農村の活性化が進展している事例も見られる。

このように、都市と農村の協働は、農村の活性化を図る上で有効な手段の一つであると考えられるが、その推進のためには、農村と都市部等の人材をつなぐ有効かつ汎用性の高い仕組みの存在が必要である。

このため、「田舎で働き隊！」事業（農村活性化人材育成派遣支援モデル事業）（以下「本事業」という。）において、都市部等の人材を農村の活性化のために活用するための人材の仲介業務を支援することとする。

問合せ先

農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課
担当者：青木、宗田、横田、土屋
代表：03-3502-8111（内線5445,5451）
ダイヤルイン：03-3502-5948、03-3502-5946　FAX：03-3595-6340
農林水産省ホームページ　関連プレスリリース
http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/081224_1.html

■編集後記

昨年9月にスロベニアの農業を取材する機会があった。スロベニアは、人口200万人、EUに加盟したばかりの国だ。

フランスやドイツなどＥＵの主だった国々は農業分野でも主導的な立場にあるが、旧東側の国々は農業の規模も小さく、かと言ってほかにこれといった産業もなく、ＥＵ加盟の恩恵に預かれるようになるにはまだまだ時間が必要だと感じた。

写真は、昔ながらの製法で生ハムを作る工場でのひとコマ。アドレア海に近いアルプスのふもとのこの地方では、関東のからっ風のような強風が吹く。昔から家の中に豚肉をつるして自然の強風に1年ほどさらして自家用の生ハムを作っていた。日本だったらさしずめ「干し柿」とか「たくあん」だろうか。生産量も少ないので、日本でお目にかかるようになるのはまだまだ先のことだろう。　村田　正

ハム工場ホームページ（英語）　http://www.kras.si/?lng=eng

ー　編集発行　ー
東京国際農業者協会
〒144-0052
大田区蒲田5-39-2-6F
（社）国際農業者交流協会内
TEL：03-5703-0253
FAX：03-5703-0255
発行責任者：村田　正
E-MAIL：farm@planet.nifty.jp